

# ゆむちき通信

248号

1月20日現在  
子ども会員：128人  
正会員：40人  
賛助会員：240人  
27団体

## 祝!成人 おめでとうございます



しりたがり/おとな塾/へんてこ大作戦!?

祝!成人

鑑賞部～あなたのイチオシ曲～

連載小説

Harbor Salon



# ゆまもと かずこの 知りたがりやトーク



あけましておめでとうございます！なんと 2024 年は甲辰(きのえたつ)。「甲」と「辰」の組み合わせは「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」という縁起の良いものだとか。そこで、辰年生まれ の二人が、新春から笑談しました！



—60 年前も甲辰。歴史が動くって言われることもあるらしいけど、しーちゃん的には数秘術もやってるし、2024 年はだいたいどんな感じなんかね？  
—全部足すと 8 という数字なので、8 らしい年にはなると思うんだよね。色んなことが起こるっていう予測もできるし、数秘術でいうとすごくいい年、願いが叶うような、がんばってる人に対しては、いいことがかえってくるよっていう。  
8 っていうのは現実的に何かを表したりするのが得意な数字なので、物事を達成したり表したりすると、いいね。

—啓発広報部おとな塾—

## 狂言の曲目を読んでみる

「狂言」公演が目前！ということで、今回のおとな塾は当日演じられる曲(演目)をみんなで読んでみることに。まずは「想像力を働かせ、自分なりの解釈で楽しんでください」と狂言のお楽しみポイントを確認。

続いて演目『昆布売』を読んでみる。これは威張っていた大名と昆布を売る商人の立場が入れ替わるというもの。「入れ替わるといえば『王子と乞食』もよね」「西洋文学と日本の狂言、身分制度がある時代の発想なんじゃろうね」とみなさん。私的には身分が高くなれば本当に幸福？という疑問も浮かび色々考えました。

—あたしたちが生まれた 1964 年は、東京オリンピックに新幹線開通に色々あった。その前の甲辰は、三越百貨店の前身である三越呉服店ができたんだって。

—ほら形に残ってるのよ。

—ただの辰年でいうと、うちの子が生まれた 1988 年は青函トンネル、瀬戸大橋、東京ドーム。ドラクエⅢも。ちなみに 2000 年に 2000 円札だったけど今年は久しぶりに新デザインのお金が発行される。夏はオリンピック、11 月にアメリカ大統領選挙、世界的にみても選挙イヤーらしくて、どちらに転ぶかわからんっていう面もある。

しーちゃん、今年始めようと思ってることは？

—何か始めないとだよ。第 2 のステージを考えないと。

—第 2! ? 笑

—えっ第 3 かね？セカンドステージくらいのつもりでおったわ。そっか、仕事だけをやってた頃がファーストで、子育てもやってきたのがセカンドで、子どもも成人したんだから、サードじゃわ…おまけの人生よね。今は好きな事もして子育てっていう時代でしょ。あたしたちの頃違ったじゃない。うちはお姑さんの考えも古くて、働かなくていいじゃないって。

—あたしら子ども時代は右肩上がりじゃったよね。洗濯機はすでにあっただけど、雑居アパートだったけん、たらいと洗濯板の家もあった。テレビはご

1 月 17 日(水)YY 事務所 参加者 11 名

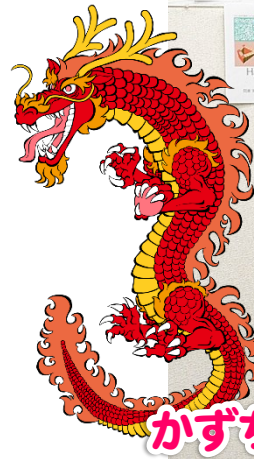
一方の『二人袴』は、嫁の実家へ一人で挨拶に行けない婿と、過保護な父親の話。見どころは、一枚の袴を親子でシェア？するところのよう。「舞台でどうやってやるんじゃろ？」「毎回新しいものを引き裂く？」「マジックテープ？」などと妄想。実際はどうなるのかとても気になります。

そして、呉では初めての小舞。今回の『貝尽し』は結婚のお祝いに“サザエの精”が舞うそう。検索してみると、祝われる豊玉姫は龍の化身のようです。辰年だから入れてくれたんですかね。みんなの話を聞いていると、自分だけでは思いつかないことばかり。深堀したらそんなふうに考えることができるのかと、自身のこれまでの考察の甘さが身に染みたおとな塾でした。(福田)

# 笑談

成婚もオリンピックもあったからたいていの家にあっただけ、電話は借りよった人も。今はみんなスマホじゃん。めっちゃ豊か感あるよね。でもないときを知ってるから、我慢もできるし、両方のことがわかるけん、いいときに育ったよね。いけいけドンドン、なんとかなるって思える。

- 希望があったんだよね、がんばったらとか、努力したらいいことがあるとか。
- 変わっていくのを見るのはおもしろかったよね。カーブだって、50年の優勝のときにみんなすごい泣いとったのを見てるじゃん。グランドになだれこんどったんよ。そう思うと60年はいろいろある。ちょっと前に40だったわと思ったのにな。
- そこから早かったね。
- 40からすごい忙しかったもん。
- あたし40で産んでるからな〜。
- 下の子が生まれてからが忙しかったんよ。上の子のときは、専業主婦で余裕があった。幼稚園がバザーの時に手作りを一品出すところで、クラスで集まってっていうのがあって、友だちできるし、だから今でも一緒に旅行に行こうとかできるんだけど、楽しかった。
- うちは保育園だからそういうのなかった。ママ友できんかったのよ。
- いーじゃん、今からばば友つくれば！
- いいね、ばば友とじじ友と、お茶を飲める人がほしいわねほんと。



かずちゃん



- おじさんの友だちならいっぱいおるよ。みんな事務所に珈琲飲みに来て、話して帰るんよ笑
- それって世の中の役に立ってるってことでしょ笑 サードステージなんだから、自分のためだけじゃなくて、もっとずっと広い意味で、役に立ちたいと思うよね。私らの年になったら、昔だったら死んでたじゃん笑
- 自分がやりたいようにやっとなことで付加価値としてそのことが人の役に立ってるって感じになるといいよね。
- うんうん。
- すべては自分のためなんじゃけど。せっかく生まれて来たんじゃけんね、ウェルビーイングって何歳になってもそうじゃんね！社会貢献もしつつ、楽しくすごしたいね。



## へんてこ大作戦!?ママたち集まれ~ part 1

3月は人形劇「へんてこげきじょう」。若いママたちの力を借りた〜い！と3組の親子と喋った♪

「お正月はどう過ごした？」と聞いたところ、みんな口をそろえて「実家でたらふくご馳走食べた!」。我が家もそう。さぞかし親御さんは忙しかったことでしょう。心中お察しいたします。そして話題は、保育園の話へ。仕事復帰間近のママが「また慣らし保育からじゃ。期間長くなあひ?」と。去年、孫が一時入園した時に、それ思った〜と、婆の私もめっちゃ共感。子どものための慣らし保育ってわかってるけど、一律じゃなくてよくない?ひとりひとり臨機応変に思うのは預ける側の勝手な言い分?いやいや切実なんよ。



そんな話をしながら、人形劇紹介も。ちょっとした悩みや情報交換も集えばできる。一緒に楽しく仲間を広げ、盛り上がって3月の人形劇を迎えたい!と思うのでした。(しるこ)

# 祝! 成人

# 成人の日

Happy 20th

ハタチのみなさん、おめでとうございます！今年は新しく何かを始めるととってもいい甲辰らしい！思いも新たに、おとなの仲間入りをするみなさんは、今年何を始めますか？事務所を訪れた新成人に聞きました。



岡山でひとり暮らしを満喫してます！ 上田海晴



大学生がんばってます！  
松本流弥



沖縄楽しんでます！今年は実習も！ 岡本美空



# 今年あたらしく始めたいこと

今年も祭りがんばるぞ～  
横山祐一朗



夢に向かって修行中！  
西本陽輝



神戸の暮らし楽しいです！  
山本陽也



就職決まりました！  
前門戸陸

# あなたのイチオシ曲

12 月上演「ストリングラフィアンサンプル」の取り組みで、「あなたのイチオシ曲」を募集しました。老若男女から集まった幅広いチューンをエピソードとともに大公開しちゃいます！

まずは人気だった曲をランキングで！



クリスマスソング /back number

歌詞ときれいで繊細なメロディーがマッチした曲で、冬っていいなあと思わせてくれる曲でもあります。



クリスマス・イブ /山下達郎

いつか私にも素敵な彼ができますように…と夢みる学生でした。いつまでたっても、あの時の青い…気持ちがよみがえってきます。



Last Christmas /Wham!

中学校の英語の授業で歌いました。しんみりと温かい気持ちになるこの曲を、みんな気に入ってカラオケに行った時にみんなで歌ったのが、今も残る楽しい思い出です。



カノン /ヨハン・パッヘルベル



ドラえもん /星野源



Happy Xmas (War Is Over) / John Lennon



糸 / 中島みゆき

この曲を聞くと、人と人とのつながりを大切にしていこうって思います。



恋人たちのクリスマス / Mariah Carey



唱 / Ado



silent / SEKAI NO OWARI

レオ / 優里

優里さんの動画みたら、レオを歌い出して、好きになりました、元気になるっていうか、やる気が出る？

3月9日 /レミオロメン

結婚記念日の毎年3月9日には歌っています。今年の3月9日、歌おうと YouTube を見ていたら、藤井風の3月9日に会い、ただ今、大ファン中。

いのちの歌 / 竹内まりや

初めて、竹内まりやさんのコンサートに行った時のラストナンバー。ピアノの弾き語りだったのですが、感動のあまり号泣でした。

生まれてはじめて

/ 神田沙也加・松たか子

子どもを産んでから、はじめて買った CD です。子どもと一緒にうたえてたのいいです。

できっこないを やらなくちゃ / サンボマスター

中学の頃、諸事情あって、学校にあまり行きたくなかったけど、この曲を聞いて自信をつけて登校した。

WISH / 嵐

独身の時は仕事か嵐かだったので、嵐のコンサートによく行ってました。今は子育ての日々で、楽しいこと、怒る毎日…。あの頃はあの頃で楽しかったなー。

キセキ / GReeeeN

中学3年の時に同じ部活の仲間と一緒に演奏した最後の曲で、思い出に残っています。

# 誰がための演奏会②

二神リュウ

おじいさんと出会ってからの椿はバイオリンを始めます。どんな演奏をするのでしょうか？

第一話はやんちき通信 245 号掲載。

私はおじいさんと出会った公園にやってきていた。

おじいさんの演奏を聴いてバイオリンに興味を持った私は、両親に頼んでバイオリン教室に通わせてもらうことになった。

これで私もおじいさんのように……。

そう思いながら一生懸命練習した。先生いわく私にはセンスがあるらしく、すぐに基礎を覚え、今となつては簡単な曲であれば難なく演奏することができるようになった。

普通なら喜ぶべきなのだろう。だけど私の心は晴れやかではなかった。

どれだけ練習しても、おじいさんのような音が出せない。

決して上手くないのに、聴いていると胸が温かくなつたあの優しい音。

あの音を出そうと色々工夫した。弾き方を変えてみた。弦の張りを変えてみた。でも出すことができない。どうすればいいのだろうか？

何か分かるかとも思い、この公園にやってきた。けど結局何も分からなかった。

いや、本当は分かっている。私には何も無いのだ。

もともと私には好きなことややりたいことが無い。バイオリンも、おじいさんがやっているのを見て興味が出たから始めただけ。

おじいさんのような、好きだから、と

かそんな立派なものには私には無い。私は空っぽなのだ。

時間の無駄だな。私は回れ右をしてまっすぐ家に帰ろうとした。

するとそこに、あのおじいさんがやって来た。

「私も似たようなことがあったよ」

冷たくなつた公園のベンチに腰掛け全てを打ち明けると、おじいさんは初めて会った時と同じ優しい声で話し始めた。

「昔、好きなバイオリンリストがいてね。」

その人みたいな音を出したいと思つてたけど、全然出せなくて悩んでた。どうすればいいのか、私はその人に訊いた。そして言われたんだ。あなたは私じゃないのだから当たり前だ、と」

その言葉を聞いた時、私はハツとなつておじいさんを見た。

「音というのは出す人の心の形。心の形は人それぞれ違うから、出す音が違うのは当たり前だし、絶対に同じにはならない。あなたにはあなたの心の形、あなただけの音が出せるはず。そう教えてもらった」

おじいさんは微笑みながら私に振り向き、

「お嬢さんには、お嬢さんだけの音が出せるはずだよ」

私は自分の胸に手を当てた。

私の心の形……私だけの音……。

「出せるでしょうか？ 空っぽの私に」

「出せるよ。少なくとも、今の君はもう空っぽじゃない」

そう言つておじいさんは私の頭を優しく撫でた。

「お嬢さんは、もう少し自分を信じてみるといい」

私の頭を撫でながら、おじいさんは小さくホホホと笑つた。



画:らな



## 第15回 Harbor Salon

# 西と東の島国 ティーパーティー

Good afternoon! アフタヌーンティーの国・イギリスから戻ってきました、Harbor Salon の美月です。今回は、「西と東の島国ティーパーティー」！イギリスと日本のあれこれを比較しながら、それぞれの「本場の」お茶菓子を味わいました。

腕によりをかけて作ったパワーポイントで、イギリスについてすこしお勉強した後、大学生活やホームステイ、食事や休日の過ごし方についてお話ししました。中でも盛り上がったのが、イギリスで実際にやっていた、眠気覚ましのためのゲーム(後に「Simon says」という名前だと知りました)です。簡単に説明すると、「サイモンさんの指示にしか従ってはいけない」というルールで、出題者は文頭に「Simon says」と言ったり言わなかったりしてプレイヤーを惑わすのですが、皆さんお上手で、なかなか引っかかってくださいません。(出題者の私が下手だったのかもしれません笑) 終わった後、ぼろっと出てきたのは、『Simon』ってよくある名前なんかね? という意外な質問。私は留学先の大学の先生がこの名前を使っていたからそうただけで、現



地で「Simon さん」にお会いしたことはありませんでした。しかし、参加者の一人がこのゲームをご存じで、「名前はやっぱり『Simon』だった」と教えてくださり、「Simon」は日本でいう「太郎」みたいなポジションなのかな? という話に発展しました。こういう話ができるのも、「会話」を楽しむ Harbor Salon だからこそ。大学の留学報告会ではあまり感じられなかった、人と人が交わることで起こる「化学反応」のようなものを秘かに感じていました。

話が進むにつれ、「みんな傘差さないの!?!」「イギリスのごはん、意外とおいしそう...!」「クリスマスパレードが11月の初めの方にあるの!?!」など、驚きの声が続々。みなさんが知らなかった「生きた」情報を提供できたことがとてもうれしかったです。

日本に帰ってきてから1か月が経ちますが、自分で作ったパワーポイントを見ていたら、その時の思い出と一緒にすらすらと言葉が出てきて、本当に充実した3か月間だったなあと感じました。

次回は、そんな「濃い」イギリスでの留学生活についてお話ししたいと思います! お楽しみに~!(みづき)



■発行日:2024年1月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵

■発行元:特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目11-12PANビル3F

■連絡:0823-24-5646 ■WEB:<http://kure-yyy.org>